

GUTWIN, C. , STARK, G. and GREENBERG, S.(1995) Support for workspace awareness in educationalgroupware Proceefings of ACM Confence onCSCL pp.147-156

<http://www.www-cscl95.indiana.edu/cscl95/gutwin.html>

2001/05/05

Sum. URASHIMA, Noriaki & NAKAHARA, Jun

CSCLのアウェアネス

Gutwin ら(1995)は、CSCL のアウェアネス概念として、以下の4つをあげた。

1 . Social Awareness

自分がどのような役割を集団内で果たすべきなのか、どのようにして集団内でインタラクションすればよいのか、といった社会的関係についての認識である。

2 . Task Awareness

協調学習におけるタスクについて他者が何を知っているのか、タスクを完了するためにはどのようなステップを踏むべきかといった、どのようにしてタスクを完了するかということについての認識

3 . Concept Awareness

持っている知識がタスクとどのように適合するのか、トピックについて何を見つけだす必要があるのかといった、今現在持っている知識とこれから必要とされている知識の関係についての認識

4 . Workspace Awareness

タスクを完了するために他のメンバーが何をやっているのか、彼らはどこにいるのか、彼は既に何をやったのか、といった共有された空間における他者とのインタラクションについての認識である。

Jun Note

2001年現在、CSCLはコンテンツ込みの学習環境として、WBTやeLearningシステムの中に統合されつつある。そこで問題になるのは、学習者に関するどういう情報や、どういう課題をどのように学習者に提示したらよいのか、ということであり、このGutwinらの指摘は非常に参考になる。